



福島県の取り組みとして県下の15校でMoneyConnection®を実施

地域の関係者との連携を強化

福島県中小企業団体中央会では厚生労働省福島労働局の委託を受け「若年者地域連携事業」(地域の関係者と連携した若年者に対する職業意識形成支援関係事業及び職業紹介を除く雇用対策関連事業)の一環として、実施実績があり、効果が実証されているMoneyConnection®を実施することを決定した。既に15校(2009年1月末現在)で実施している。



働く時間、生活に必要な時間、自由な時間を計算してワークシートに記入する生徒たち。今までの生活の中で気にしていなかった「時間」に戸惑いをみせる生徒も少なくなかった。ワークシートを見せ合いながら「時間が足りない」「寝る時間がなくなった」「こんなんじや遊べないよ」など、素直な意見が教室に飛び交う。

福島県立喜多方商業高校での授業風景をレポート。

プログラムを実施した喜多方商業高等学校では、2年生3クラス/計116名の生徒が参加した。プログラムの最初に行われたのは「一人暮らしに必要な生活コスト」を考えるワーク。1か月の給与を20万円と仮定し、家賃や食費、税金などの予想金額を記入していく。講師が相場の金額を発表すると、自分の書いた予想金額と比べ「外食を減らせば大丈夫かな?」「家賃の安いところに住まないと」などと話し合う生徒たち。ワークを通して「生活費のやりくり」を疑似体験しているようだ。

次は、働き方/稼ぎ方から生活をシミュレーションするワークが始まった。「働き方」や「月収」が書かれたカードをひくたびに、教室中から歓声があがる。「やった正社員!」と喜ぶ生徒、「どうしてフリーターなの?」と不満顔の生徒など、表情はさまざまだがワークを楽しんでいる雰囲気伝わってくる。最後に、講師が正社員・派遣社員・フリーター、それぞれのメリット・デメリットを伝えてプログラムは終了した。生徒たちはプログラムを通じて「将来のことを考えて、今行動することの大切さ」を感じ取ったようだ。



福島県立喜多方商業高等学校
2年学年主任 須藤 毅先生

生徒自身が楽しみながらプログラムに参加

生徒たちが主体的に取り組めたことは非常に良かったと思いますし、私自身も楽しみました。講師が一方的に話す講義形式の授業だと飽きてしまう生徒もいるかもしれませんが、ワークシートで作業をしながら自分の問題として考えることで、興味を持って取り組めるのだと思います。盛り上がりすぎて講師の方はちょっとやりづらかったかもしれませんが(笑)。

正社員とフリーター。その長所と短所を知って欲しい

幸せに暮らしていくためのベースの一つに「安定」があると思っていますので、生徒たちにはそのことも意識して就職するよう指導しています。今、不安定さからくる不安感が若者を犯罪に走らせた事件も問題になっていますよね。一概にフリーターが悪いわけではありませんが、その長所と短所をちゃんと知れば、きちんとした判断をした上での選択ができるのではないのでしょうか。

進路指導のベースとしても有効なプログラム

私たちが口をすっぱくして「しっかりと考えて将来を決めるように」と言っても、生徒たちにはなかなか伝わらないです。だからこういうワークを通して気づかせることは、今後の進路指導にも有効だと思います。今回は2年生に実施しましたが、今度は1年生の早い時期に実施したいと思っています。

福島県で大規模に実施するために地元でMoneyConnection®講師養成セミナーを開催

福島県 講師養成セミナー

実践を通して、納得と高い評価を生み出していく。

2008年10月26日、MoneyConnection®講師養成のためのセミナーが行われた。参加したのは地元で若年者のキャリア教育に携わる方々10名。最初にプログラムの概要を説明し、参加者が生徒役としてプログラムを体験してから、実際に講師として授業を実践した。

詳細なマニュアルを用意したこともあり、講師としての感覚を身につけ、セミナーは終了。参加者たちは、プログラムのおもしろさ、そして完成度の高さを感じたようだ。福島でのプログラム実施にあたっては、ここで研修を受けた方々が講師を務めている。

「MoneyConnection®」とは、日本で初めての試みとなる、ニート予防をめざした金銭基礎教育プログラムのこと。若者の自立を支援する特定非営利活動法人「育て上げ」ネットと、社会貢献活動として中学生・高校生向けのキャリアメンタリングプログラムを実施してきた新生フィナンシャルが共同で開発した。プログラムや教材の開発にあたっては、玄田有史教授(東京大学社会科学研究所)をはじめ、ニート研究や教育・金融の専門家、さらに高校の現場でキャリア教育に取り組む先生方がアドバイザーとして参加。プログラムの各種ワークを通して、お金・働くこと・生活・自分の価値観を考えることで、若者達が自分の将来と真剣に向き合うきっかけをつくることを目的としている。

2009年4月 発行:特定非営利活動法人「育て上げ」ネット、新生フィナンシャル株式会社

お問合せ先:事務局(特定非営利活動法人「育て上げ」ネット内)〒190-0011 東京都立川市高松町2-9-22 生活館ビル3F TEL:042-527-6051 FAX:042-548-1368

お知らせ:GEコンシューマー・ファイナンス株式会社は2008年9月22日付で新生銀行グループの一員となりました。これに伴い、2009年4月1日に「新生フィナンシャル株式会社」に社名を変更いたしました。

MoneyConnection®



新生フィナンシャル

ニート予防をめざした金銭基礎教育プログラム

NEWS
Vol. 3



社会インフラ化に向けた新たな試み。

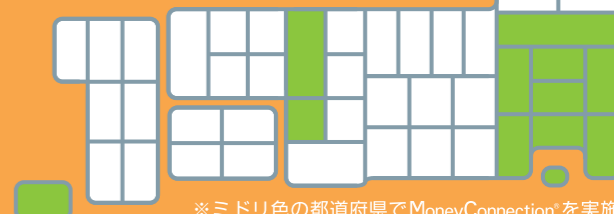
2007年のスタート以来、関東地区の高校を中心に実施してきた「MoneyConnection®」が今、日本全国へと広がりを見せている。大阪市若者自立支援事業「コネクションズおおさか」との連携や福島県での取り組みなど、社会インフラ化に向けて動きだした、MoneyConnection®の新たな試みを紹介する。

活動拠点は関東圏から全国へ

開催回数:136校(会場)

受講者数:約17,600名

※2009年2月末現在



※ミドリ色の都道府県でMoneyConnection®を実施

活動内容はホームページでも報告しています。

<http://www.moneyconnection.jp/>



高校教員がMoneyConnection®のプログラムに参加。先生から見たプログラムの魅力とは？

高等学校教職員対象MoneyConnection®セミナー

高校の先生がプログラムを体験するセミナーを開催。

2008年12月11日、A'ワーク創造館(財団法人大阪生涯職業教育振興協会が運営)が主催するセミナーが行われた。高校の先生にMoneyConnection®のプログラムを体験してもらい、高校現場で活かしていただきたいという主旨のもとに開催されたもので、16名の参加者が集まった。

セミナーは、プログラムの概要の説明から始まった。プログラムのポイントを講師が伝え、先生方は熱心にメモをとっていき。さらにMoneyConnection®の授業を撮影したビデオが流れると、先生方の表情が変わった。カードを引いてはしゃぐ生徒たちを見たことで、今までにないプログラムだということを実感できたようだ。

次はいよいよ先生方が生徒役となり、プログラムを体験。「一人暮らしに必要な生活コスト」を考えるワークで、先生方が苦労していたのは健康保険や年金、税金など給与から天引きされているものの金額。先生方から「これは私も勉強せんと生徒に話せんわ」という声があがる。次はカードとワークシートを使って稼ぎ方/働き方から生活をシミュレーションするワーク。4人ずつのグループに分かれて行われたが、はじめて会う先生も多いため、最初は会話もぎこちない。しかし、お互いカードを見せあうことで雰囲気が和らぎ、自然に会話ははずんでくる。これもMoneyConnection®の魅力の一つなのだ。

先生方の力を借りて、プログラムが進化していく。

セミナーの最後には、先生が講師となってプログラムを実践する。各グループごとに1人が講師役、他の3人が生徒役となり授業を行う。先ほどはじめて体験したばかりにもかかわらず、身ぶり手振りを交えて話す先生、自分自身のエピソードを語り始める先生など、自分なりにアレンジして授業をより魅力的にしていく。「ウチの学校の生徒やったら、こう言った方がいい」「ここは少し丁寧に説明した方がええかな？」など、先生同士が情報交換しながら、プログラムをブラッシュアップしていく。

セミナーが終わった後も、「教材はどこで手に入るのか?」「プログラムを実施する時には、ぜひ見学させて欲しい」など、先生方の質問は続く。こうした高校の教員の方々を対象としたMoneyConnection®セミナーの開催要請は増えてきており、高校現場でも評価され、さらに広がっている。



カードの組み合わせによっては、生活が成り立たなくなったり、家族を養うことができなくなってしまふ。細かく計算されたプログラムの裏を知り、先生方もひとしきり感心していた。

セミナーに参加した先生方の声

生徒が楽しめそうな内容。「これは何?」「どうやる?」と考えたくなる、知りたくなる内容であったことがうれしかった。

ホームページでおおよそは理解していたが、実際に体験してみると、より理解することができました。さっそく実施したい。

金銭について考えることは、生きていくことを考える基礎的なこと。とても使いやすい教材だと思います。



大阪市の若者自立支援事業を行う団体が、MoneyConnection®を実施する。その理由とは？

コネクションズおおさかでの取り組み

——コネクションズおおさかがMoneyConnection®を実施することになった経緯を教えてください。

コネクションズおおさかでは、特に教育と福祉との連携に重点を置き、若者の自立支援を行っています。大阪市の関係機関の会議の中で、教育の場である高校との連携を模索し、たどりついたのが、コネクションズおおさかのスタッフが高校に出向き、出張授業をするということ。そこで関東で実績のあるMoneyConnection®を活用することになったんです。

——プログラムを実施した感想を率直に教えてください。

このプログラムには「こうじゃなければならぬ」という押し付けは一つもないんですね。ただ、いろいろな働き方やライフスタイルを、ある意味淡々と提示しているんですが、そのメリット・デメリットを数字できっちり出すことで、高校生はちゃんと自分で咀嚼して、何が得で何が損なのかを感覚的に感じ取っている。その過程が目に見えるのは、非常におもしろいですね。

——MoneyConnection®を通して、これから実現したい目標はありますか？

一つ目のステップは、リアルな金銭感覚を身につけることによって、高校生が将来を考えるきっかけを作ること。そしてその次は、進路を考える時、さらには高校を卒業した後も、仕事のことについて相談できるコネクションズおおさかという場所があることを知って欲しいと思っています。親身に相談にのってくれる場があることを、高校生に直接知っていただくことができるのは大きなメリットですね。

——これからプログラムをどう活用していきますか？

関東でのプログラム実施実績とプログラムの完成度の高さから、高校からも関心をもっていただいていることを聞いています。また生徒の「気づき」を引き出すこのプログラムは、若年者のキャリア形成に効果的だと考えています。まだこういった取り組みを始めたばかりなので、高校からの要望があれば、柔軟に対応していきたいと思います。



コネクションズおおさか 所長 高崎 大介氏

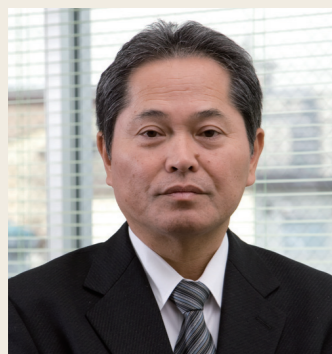
大阪市若者自立支援事業・大阪市若者サポートステーション コネクションズおおさか

社会的なブランクが長い、対人関係が苦手、仕事が長続きしないなどの悩みを抱えた若者たちに対して、キャリア相談・各種講座・仕事体験などを行っている。高校生に対しては、MoneyConnection®などのキャリア教育支援や、夏休みなどを利用した仕事体験なども行っている。

大阪初、大阪市立淀商業高等学校でMoneyConnection®のプログラムを実施



2008年11月19日、大阪市立淀商業高等学校の1年生192名がプログラムを体験した。同校の小島成起教頭はこう語る。「今までは『派遣社員やフリーターは自由な時間が多い』といったイメージが生徒の中にありましたが、保障や収入の面ではデメリットもある。そういう現実が見えてきたのはよかったですね。今回のプログラムは1年生という早い段階から目的意識を持つ、よいきっかけになったのではないのでしょうか。」



A'ワーク創造館 事務局次長 森田 俊彦氏

A'ワーク創造館

財団法人大阪生涯職業教育振興協会が運営する職業教育・生涯学習施設。講習講座事業、相談・情報の提供などを実施。その功績が認められ、2008年11月に若者自立支援功労団体等厚生労働大臣表彰を受賞。

A'ワーク創造館では、長年にわたってニートと呼ばれる就労困難な若者たちを支援してきました。彼らを見て思うのは「一度ニートになってしまうと、そこから抜け出すのは難しい」ということ。だから、ニート予防という取り組みの必要性は以前から感じていました。今年、文部科学省から事業を受託し、ニート予防のため

セミナーを行うことになった時にMoneyConnection®を知り、これは有効だと感じましたね。ニート状態の若者を見ると、非常に現実感が薄いと感じるんです。そこで、お金という非常にリアルなものを意識させることで、自分の生活にリアル感をもたせることができるし、それがニート予防につながるかと信じています。

BOOK INFORMATION



MoneyConnection®の取り組みをまとめた一冊が3月11日に出版されました。

「16才のための暮らしワークブック」 著者:工藤 啓(特定非営利活動法人「育て上げ」ネット 理事長) 発行:主婦の友社

「MoneyConnection®」が高校生に伝えたいメッセージ、プログラムを通して見えてきた高校生のお金に関する意識を紹介。

特定非営利活動法人「育て上げ」ネット 理事長・工藤啓氏が社会に出るのが不安なすべての若者におくる、仕事と暮らしとお金がわかる本。「まともな暮らし」をするにはいくらお金が必要なのか、フリーター・派遣・正社員は何か違うのか、税金や社会保障のお金とは何なのか…。社会に出る

ことに不安を抱えているすべての若者に、「仕事」「お金」「暮らし」のことをわかりやすく解説した一冊。「一人暮らしに必要なのは月いくら?」「やりたい仕事をどう見つける?」「正社員がいい、と言われるわけ」「税金って何だ?」など、「MoneyConnection®」の体験版簡易シートつき。